



NPO 法人日本防火技術者協会 平成22年度通常総会予告

日時：平成22年1月25日(月)
13:30~14:30

場所：スクワール麹町(四ツ谷駅前)
5階 栄の間

議題内容《予定》

- 1) 平成21年度事業報告
- 2) 平成22年度活動計画
- 3) 会計報告、予算計画
- 4) 監査報告
- 5) その他



SFPE・Jニュース
(SFPE日本支部
の活動 第24号)

SFPE日本支部 2010年度通常総会開催案内

日時：平成22年1月25日(月)
14:00~14:30

場所：スクワール麹町(四ツ谷駅前)
5階 栄の間

議題内容《予定》

- 1) 2009年度事業報告
- 2) 2010年度活動計画
- 3) その他

京都大学 田中哮義教授 記念講演会の開催案内

この度、京都大学田中哮義教授がSFPE日本支部では最初の名誉あるFellowになりました。記念講演会を開催しますので、ご参加願います。

日時：平成22年1月25日(月)
14:40~15:40

場所：スクワール麹町(四ツ谷駅前)
5階 栄の間

講演者：田中哮義(京都大防災研究所教授)

演題：リスクベースの火災安全設計法の可能性と意義

田中先生 Fellow お祝い会のご案内

日時：平成22年1月25日(月)
16:00~18:00

場所：スクワール麹町(四ツ谷駅前)
5階 豊の間

参加費：5,000円(予定)

防火研修会開催報告 「損害保険と工場の自主防災」

主催 特定非営利活動法人
日本防火技術者協会
後援(予定) 東京理科大学
火災科学研究センターG-COE

日時 平成21年10月7日(水)
(18時00分~19時30分)

場所 東京理科大学森戸記念館
2階 会議室

講師 リスクロジック 牧 功三

(防火研修会の概要)

一般に米国の製造業は防災への意識が非常に高いと言われている。19世紀後半には、自主的にスプリンクラーを工場に設置し、工場の資産や利益を守り事業を継続するための防災活動を行っていた。このような防災技術や思想が損害保険と絡めて発展し、体系化され、産業上の防災基準(産業基準や保険基準)として世界的に信頼されるまでにいたっている。

日本における工場等の産業物件の防災活動は、建築基準法、消防法、危険物取扱法、高圧ガス取締法などの法規を根拠として行政主導で行われている。しかし、これらの法規は主に人間の安全や公共安全を目的としており、企業の資産や利益を守り事業を継続するには十分ではない。

現在、日本では保険基準や産業基準などの民間の基準を積極的に活用して防災活動(自主防災)を行っている企業はほとんどない。企業は関連法規を満足すれば、それ以上のことをする必要がないと考えるのが一般的である。しかし、リスクを全て洗い出し、リスクの大きさに応じた対策をとっていないので、「想定外」の資産損失や営業損失が発生したり、事業継続に大きな影響を受ける可能性がある。法規は行政が定めた最低限の要求であり、企業が経済的な損失を防ぎ、事業を継続するためには全く不十分である。

行政は企業が自主防災を行うことを推進するべきである。工場やプラントなどの産業物件においては技術の変化が早く、かつ建物、生産設備、生産工程、物流などが複雑であり、行政が防災上の技術的な基準の詳細を全て定めることには限界があり現実的ではない。海外では産業物件の防災には保険基準や産業基準などの民間主体の基準が適用されており、自主防災を積極的に行い、火災や爆発を未然に防ぎ、かつ被害の拡大を防止することは結果として人間の安全や公共安全にもつながるものと考えられている。

防火技術職能検討WG 講演・懇話会開催報告

防火技術者の職能を考える
一先輩の職能団体に学ぶー
日本コンストラクション
マネジメント協会の活動より

日時：12月1日(火) 18:00~20:00

場所：東京理科大学 GCOE サテライトオフィス

講師：古阪秀三 先生

(日本コンストラクションマネジメント協会前会長、京都大学准教授)

主催：日本防火技術者協会

後援：東京理科大学 GCOE プログラム「先導的防火安全工学の東アジア教育研究拠点」

参加者：14名

プログラム

1. 趣旨説明 原田和典(京都大学)
2. 日本コンストラクションマネジメント協会の設立経緯・活動理念・目標 古阪秀三 先生(前出)
3. 質疑・討論・懇話会

講演と懇話会の要旨：

防火職能WGでは、防火技術者の職能確立に向けて様々な討論を行い、「防火一級建築士」に向けた資格制度の提言を準備してきましたが、提言の実現に向けての行動計画をこれから考えていく必要があります。

日本コンストラクションマネジメント協会(以下、日本CM協会)は、会員制度、資格制度、倫理要項、継続教育等の職能団体として必要な一連の制度を整備して運用している職能団体であり、防火技術者協会の今後のありかたを考える上で、大いに参考になると考えられます(ホームページは <http://www.cmaj.org/>)。そのため、日本CM協会の前会長を務められた古阪秀三先生をお招きし、協会設立の経緯や活動理念と目標についてお話し頂き、引き続き懇話を行いました。

ご講演では、日本CM協会設立に至った動機と経緯、設立時の努力の一端をご紹介いただきました。明確な目標を持つこと、情報は徹底的に公開すること、法人格などの形式にとらわれるのではなく実質的な信用を関係方面から得るために努力すること(ちなみにCM協会は任意団体として



運営されています)など、我々JAFPEにとって参考になると同時に耳が痛い話も率直にお話し頂きました。

例えば、CM協会は建築生産のための社会システムを健全に維持するための装置として設立され、狭義のコンストラクションマネージャーだけでなく、発注者、ゼネコン、法曹界や大学に所属する人も参加していることは、JAFPEの目指すところと共通する想いがあるのではと感じました。また、防火一級建築士を目指した場合と純粋な職能団体を目指した場合の得失について、明快な分析を示されました。今後のJAFPEのあり方を考える上で、有益な懇話会でした。〔記録：原田和典〕

International Symposium on Fire Safety Management and Evacuation Program for Health Care Facilities 概要報告

2009年11月26日、28日に台北において標記シンポジウムが開催され、SFPE日本支部から笠原支部長、関沢理事、東京消防庁の大豆生田氏が参加した。

日本以外の海外からは、イギリスからUlster大学のJim Shields他2名、

香港から香港 Arup の Dr.Young Wong 他1名が参加した。

当シンポジウムは台湾大学付属病院手術室の火災で死者が発生したことに伴い、病院や高齢者施設の火災安全をテーマとしている。

当シンポジウムで日本からは以下の発表を行った。

笠原支部長

〔Report on the Results of Activities of SFPE Japan Chapter〕という題名で「高齢者施設WG」における検討結果を報告した。

関沢理事

「Care of Vulnerable Populations: Who are Vulnerable to Fires and What Care is Needed for Their Safety」という題名で災害弱者の火災被害の現状と対策について報告した。

大豆生田氏

「社会福祉施設及び病院等に係る防火安全対策」という題名で日本における高齢者施設の火災事例、およびこれらを契機に改正された法令基準について発表した。

[Fire Protection Engineering]

への投稿

SFPEの機関紙であるFire Protection EngineeringのFall 2009にSFPE本部からの依頼で笠原支部長、関沢理事の連名による「Past, Present Future of Fire Protection Engineering Practice in Japan」というタイトルで、日本における性能設計の歴史、現状、今後の方向についての記事が掲載された。

SFPE シンポジウムケーススタディWGの活動について

来年のSFPEシンポジウムケーススタディのWGにて活動中です。

ナイトクラブの防火設計について検討しています。1月中くらいには概要決定し、報告書の作成に入る予定です。

8th International Conference on Performance-Based Codes and Fire Safety Design Methods:

第8回性能基準と火災安全設計法に関する国際会議は2010年6月16-18日の日程で、スウェーデン王国ルンド大学にて開催されます。性能基準と工学的アプローチを一同に議論することができる独特の会議です。詳細はSFPE本部のホームページをご覧ください。

SFPE's Calendar of Events

14th Annual Suppression, Detection and Signaling Research and Applications Symposium (SUPDET)

February 16-19, 2010, at the DoubleTree Resort in Orlando, Florida. The symposium includes 34 papers bringing research to practice.

SFPE Advanced Fire Alarm Systems Design **March 4-5, 2010** This 2-day seminar being held at the NFPA Professional Development Week in Las Vegas, NV. 5th International Conference on Pedestrian and Evacuation Dynamics

March 8-10, 2010 at the National Institute of Standards and Technology in Gaithersburg, Maryland.

How to Study for the FPE/P.E. Exam **March 15-16, 2010** This two-day seminar will be held at the SFPE Greater Atlanta Chapter's 6th Annual Fire Safety Conference in Duluth, GA.

SFPE Advanced Fire Alarm Systems Design **April 29-30, 2010** This 2-day seminar being held at the NFPA Professional Development Week in Atlantic City, NJ

SFPE Advanced Fire Alarm Systems Design **May 13-14, 2010** This 2-day seminar being held at the NFPA Professional Development Week in Quincy, MA.

The Sixth International Conference on Structures in Fire (SIF'10) **June 2-4, 2010** at Michigan State University in East Lansing, MI.

8th International Conference on Performance-Based Codes and Fire Safety Design Methods **June 16-18, 2010** - Mark your calendar to attend this biennial conference at Lund University in Sweden.

The 12th International Conference on Fire Science and Engineering (Interflam) **July 5-7, 2010** at East Midlands Conference Centre, University of Nottingham, United Kingdom.

2010 Fire Protection Engineering P.E. Exam Online Review Seminar **July - October 2010**. Prepare for the 2010 Fire Protection Engineering PE Exam from wherever you can access the Internet. This effective, on-line review class will help you organize and navigate through the massive amount of reference material.

FIVE - Fires In Vehicles **September 29 - 30, 2010** in Gothenburg, Sweden.

The Annual Meeting: Professional Development Conference and Exposition **October 3-8, 2010** - Mark your calendar for the SFPE Annual Meeting at the Astor Crowne Plaza in New Orleans, LA.

SFPE Advanced Fire Alarm Systems Design **December 16-17, 2010** This 2-day seminar being held at the NFPA Professional Development Week in Orlando, FL.



日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

Studying on-line with SFPE eLearning Courses
The Society of Fire Protection Engineers now offers distance learning programs in a web-based format.

Journal of Fire Protection Engineering Vol.19 No.4 Nov. 2009

An Approach for Evaluating the Fire Resistance of CFHSS Columns under Design Fire Scenarios
(コンクリート充填中空鋼管柱の設計火災シナリオに対する挙動評価のための方法論)
R.S. Fike and V.K.R. Kodur

Failure Analysis of the World Trade Center 5 Building
(WTC5の崩壊解析)
Kevin J. LaMalva, Jonathan R. Barnett, and Donald O. Dusenberry

The Skip-resistant Sprinkler Concept — Theoretical Evaluation
(スキップ防止型スプリンクラーの概念—理論的評価)
John L. De Ris, Benjamin Ditch, and Hong-Zeng Yu

The Skip-resistant Sprinkler Concept — An Experimental Evaluation
(スキップ防止型スプリンクラーの概念—実験的評価)
Benjamin Ditch, John L. De Ris, and Hong-Zeng Yu

Fire Protection Engineering No.44 Fall 2009

The National Academy's Vision of the Engineer of 2020: Applications to Fire Protection Engineering
(国立アカデミーの技術者に対する見解: 防火技術者になるには)
By: James A. Milke, Ph.D., P.E., FSFPE, and Carl Baldassarra, P.E., FSFPE

Fire Safety Engineering in France: Current Practice and Foreseen Evolution
(フランスにおける火災安全工学: 現状および期待する進化)
By: Joël Kruppa

Fire Engineering in New Zealand - Lessons From 17 Years of a Performance-Based Building Code
(ニュージーランドにおける火災工学—性能基準運用17年間の教訓)
By: Michael Dixon

Past, Present + Future of Fire Protection Engineering Practice in Japan
(日本における防火工学の過去、現在+将来)
By: Isao Kasahara and Ai Sekizawa

Accreditation Board for Engineering and Technology (ABET)
(工学教育認証評議会 ABET について)
By: Richard J. Davis, P.E., FSFPE

Qualified and Quality in Fire Protection
(防火に関する資格と品質)
By: NEMA

会員数

新たに入会された個人会員 2 名の方々を記載しました。(敬称略)

〔会員〕

近藤 史郎 [清水建設]
廣井 悠 [東京大学]
〔合計 2 名〕

12 月末会員数	個人	126
	学生	11
合計 143	賛助	6

理事会等の開催結果

理事会を以下の日に実施しました。
9月30日(水)、12月1日(火)

ホームページのご案内

SFPE's Calendar of Events に掲載されていますイベント情報の詳細については SFPE 本部のホームページもご利用下さい。URL は、<http://www.sfpe.org/>です。

△